

名前 _____

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストの復習用を解く	
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
③ 宿題用テキストの基本問題A・基本問題B・復習問題を解く	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、大地の変化その2について学習しました。

日本の火山については、火山の形の部分に出てくるそれぞれの火山の代表例は最低限覚えましょう。

火山帯・マグマ・火山の噴火・火山の形の部分は関連した話になります。特にマグマの粘り気によって火山の形が決まり、それぞれの火山でどの火成岩ができるのかをつなげて覚えましょう。

火山活動によってできる岩石は、6種類の岩石の名前はもちろん、火山岩・深成岩がそれぞれどのような場所で、どのように冷えて固まってできたものなのかを記述で答えられるようにしておきましょう。

地震については、マグニチュードと震度は混同しやすいので、違いを明確にしておいてください。特に震度は0～7の10段階にわかれていて、5と6に弱強があることも覚えてください。

地震の波と震源からの距離については、初期微動継続時間と震源からの距離が比例することが最大のポイントです。グラフから読み取る問題でも表から読み取る問題でも、そこに注意をすれば対応できるようになります。